

Title	福澤家寄贈 福澤新資料
Sub Title	
Author	昆野, 和七(Konno, Wahichi)
Publisher	三田史学会
Publication year	1950
Jtitle	史学 Vol.24, No.2/3 (1950. 10) ,p.119(251)- 119(251)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白録 福澤諭吉五十年忌記念
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19501000-0119

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論者であるから、非合法の革命をきらい、しかも合法的な戦争を好んだのである。

我れ豈に戦争を好まんやというような事も言はれ（『續福澤全集』二四二頁以下参照）、又軍事はこれを止めることが目的だなどとも言はれている（『續福澤全集』第五卷一三三頁以下参照）が、しかも現實には現實の戦争を決して否定しないばかりでなく、軍備擴張、ことに海軍擴張を晩年の病床にいたる迄叫びつづけたのである。先生はこれが日本の爲だと思つたからである。しかし先生はウルトラ・ナシヨナリストではない。それは先生が合理主義者であり、法尊重論者であつたからである。また人物を尊重する民主主義者であつたからである。合理主義と法尊重主義と民主主義とは先生に於て一つのものである。それが國家主義國權主義に結びついている、これが福澤先生の性格であり、國權論と民權論とを同時に主張されている所以である。それ故、國法が戦争を禁止するならば、福澤先生も一變して非戦争論者となり、平和主義者となるにちがいない。

かく考へるならば、先生の革命及び戦争観は矛盾なきものとして理解することができると思ふのである。

福澤家寄贈

福澤新資料

總點數 一六三點

本平一月福澤家より慶應義塾に寄贈された福澤先生關係資料

の總點數は次の通りである。

- 一、福澤先生遺墨（未装幀のもの） 一三三點
- 二、福澤先生所藏書幅（緒方洪庵外） 八點
- 三、福澤先生遺品（右の中に著譯書版木を含む） 八六四點
- 四、福澤先生譯稿、寫本（福澤全集未收録） 一九冊
- 五、福澤先生草稿（單に本草稿、論說等） 二四七點
- 六、福澤先生日記覺書金錢出納帳類 五四點
- 七、福澤先生書翰（兩息米國遊學中のものその他） 一四〇點
- 八、福澤先生宛その他の書翰 三八點
- 九、福澤先生關係文書（宮中關係その他） 一六點
- 一〇、福澤先生著譯書 八五冊
- 一一、福澤先生所藏貴重書（和書洋書） 六八冊

（昆野和七記）